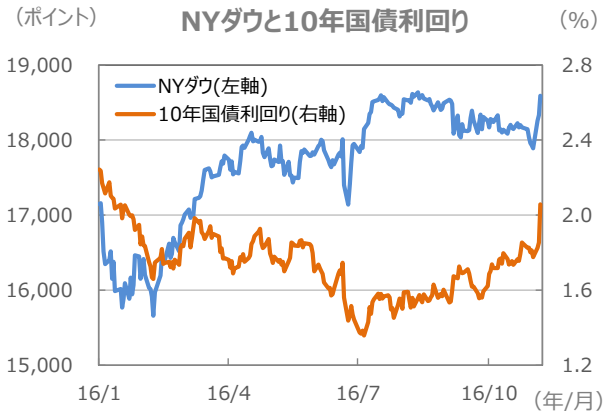


## 今日のトピック 米国の株式市場（2016年11月） トランプ大統領決定で政策期待が強まる

### ポイント1 トランプ大統領決定で株価堅調 長期金利は約10カ月ぶりの2%台

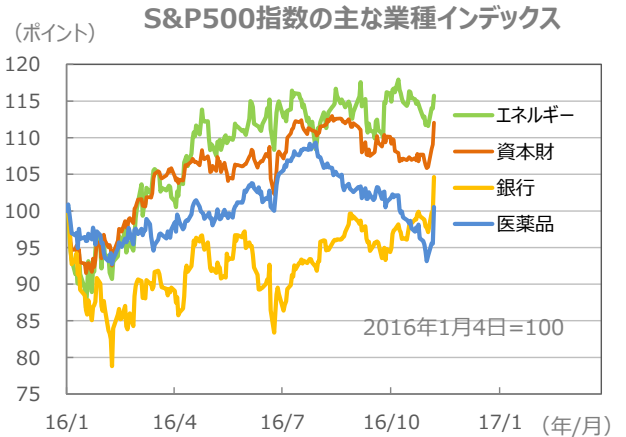
■ 8日の大統領選挙でトランプ氏が勝利し、米国の第45代大統領に決定しました。日本やアジア市場ではトランプ氏の政策に対する不透明感もあり、株式は大きく調整しました。9日の米国市場では、株高、債券安（金利上昇）となりました。9日のNYダウは18,589.69ドル、約257ドルの上昇となり、10年国債利回りは2.05%と1月25日以来の2%台となりました。株高と長期金利の上昇を受け、為替市場ではドルが対主要通貨で上昇しました。



(注) データ期間は2016年1月4日～2016年11月9日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 政策内容を材料視 医薬品、銀行、資本財などが上昇

■ セクターの動きを見ると、医薬品、銀行、資本財、エネルギーなどが比較的大きく上昇しました。医薬品や銀行は、薬価引き下げや金融規制強化を主張したクリントン候補の敗退を受けて上昇しました。公共投資や原油採掘の解禁といった政策内容も材料視され、資本財やエネルギーも上昇しました。



(注) データ期間は2016年1月4日～2016年11月9日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 政策の具体化に注目

- 9日の株式市場は、トランプ氏の景気刺激策に対する期待を示唆するものとなりました。トランプ氏の財政政策（約10兆ドル）については、実現性は低いものの、減税や公共投資の増加は期待できそうです。低位の米政策金利、ドル安、財政支出拡大の組み合わせは来年以降の米国経済を支えると期待されます。
- 注目される政策の中身は今後具体化される見通しですが、市場はトランプ氏の通商政策が保護主義的な動きを強めることを警戒しています。今後はトランプ氏の発言等で市場の変動性が高まる局面もありそうです。

**ここもチェック!** 2016年11月10日「トランプ米大統領」、ついに誕生！（米国）  
2016年 6月15日 もしトランプ大統領になったら～財政拡張の可能性大、ドル安に警戒が必要～

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。